

市民後見ひろばは、設立して5周年となります。運営委員会ではこのコロナ禍の下、研修会や交流会などの活動ができない中、どのような活動をすれば良いか話し合いを行いました。その結果、市民後見人養成講座を学んで修了した後、会員の皆様がどのように考え、活動しておられるかを知るため、アンケートを行うことになりました。会員の皆様方が、どのような成年後見に関する活動をし、活動する上での課題は何か。活動していない方におかれては、どのような希望があるのかを知り、今後の市民後見ひろばの活動を検討することとしました。

皆様からいただきましたご回答・ご意見を簡易的にとりまとめましたので報告させていただきます。詳細の分析につきましては、後日改めて報告させていただきます。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

<アンケートについて>

アンケート方法： Google フォーム

アンケート回答対象者：市民後見ひろば会員

アンケート期間：令和2年12月2日～令和2年12月26日（24日間）

有効回答数：115件（発信メール件数：600件）

\*北は北海道、南は福岡県の方から回答がありました。

<活動状況に関するアンケート>

1. 全体への質問

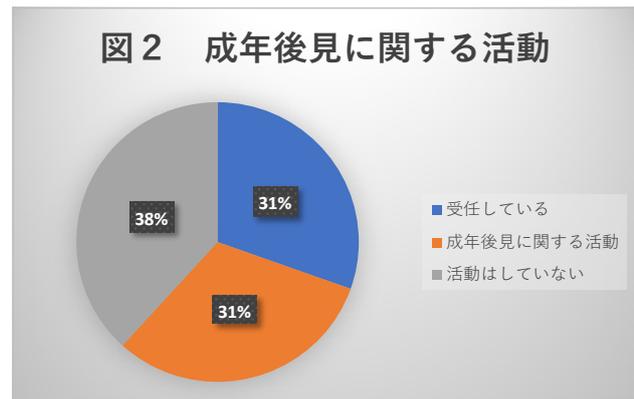
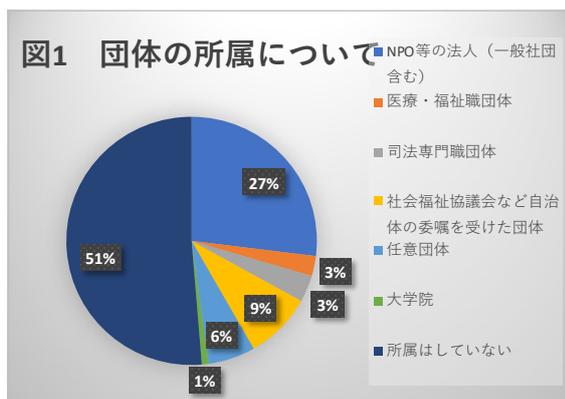
- ① 成年後見に関して所属する団体はあるかについて（図1参照）

半分の方が、団体に所属していないとの回答でした。

- ② 後見に関してどのような活動しているか（成年後見の受任活動・成年後見に関する活動・活動していない）図2参照

活動していない方が最も多かったです、それ程の差がなく、ほぼ均等に分かれました。

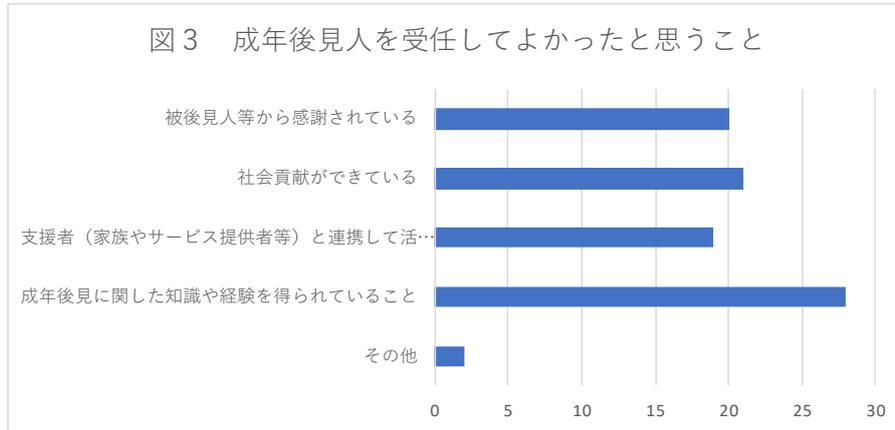
団体に所属せず、個人で活動している方は、14名おり、全体の10%強になります。



## 2. 成年後見の受任活動をしている方（35名）への質問

### ① 成年後見の受任をして良かった点について（選択制・複数回答可） 図3 参照

「成年後見に関する知識や経験することができた」と答えた方が28名おり、受任活動をしている方の80%がそのように感じています。「被後見人から感謝される」「社会貢献ができる」などは50%以上の方が感じています。



## 3. 受任活動以外の成年後見に関する活動をしている方（36名）への質問

### ① どのような成年後見に関する活動をしているか（選択制・複数回答可） 図4 参照

「講演会（成年後見の普及活動）」と答えた方が最も多く、20名おり、全体の60%の方が活動しています。その他の項目では、患者家族の会での啓蒙活動などがありました。

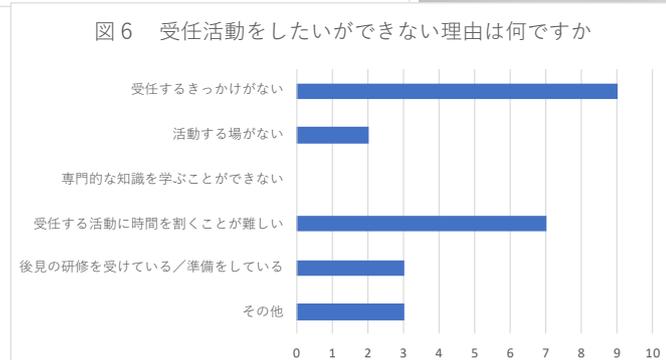
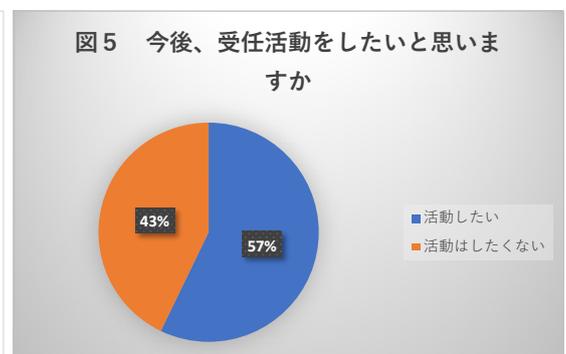
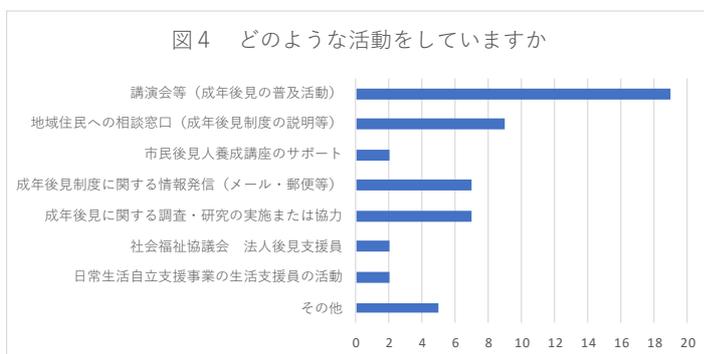
### ② 成年後見の受任活動をしたいか。 図5 参照

半分強の方が、受任活動をしたいと思っています。

### ③ 受任活動をしたいができない理由 図6 参照

現在準備をしている方もいらっしゃるが、一番多かったのは「受任活動のきっかけがない」という方が全体の四分の一ありました。

時間的制約を考える方もおり、人手不足の問題を出てきています。



4. 現在、成年後見に関する活動をしていない方（44名）への質問

① 成年後見に関する活動をしたしたいと思いますか。図7参照

活動したいと回答した方29名で、活動していない方全体の三分の二にあたります。

② どのような活動をしたかとの質問 図8参照

ほとんどの方が「地域住民の支援など地域貢献をしたい」（24名）と思っています。

「おひとり様女性のために任意後見付きシェアハウスを作りたい」という目標を持っている方もいらっしゃいました。



<市民後見ひろばに関するアンケート>

1. 市民後見ひろばの交流会に参加したことがある方は、半分弱いらっしゃいました。

図9参照

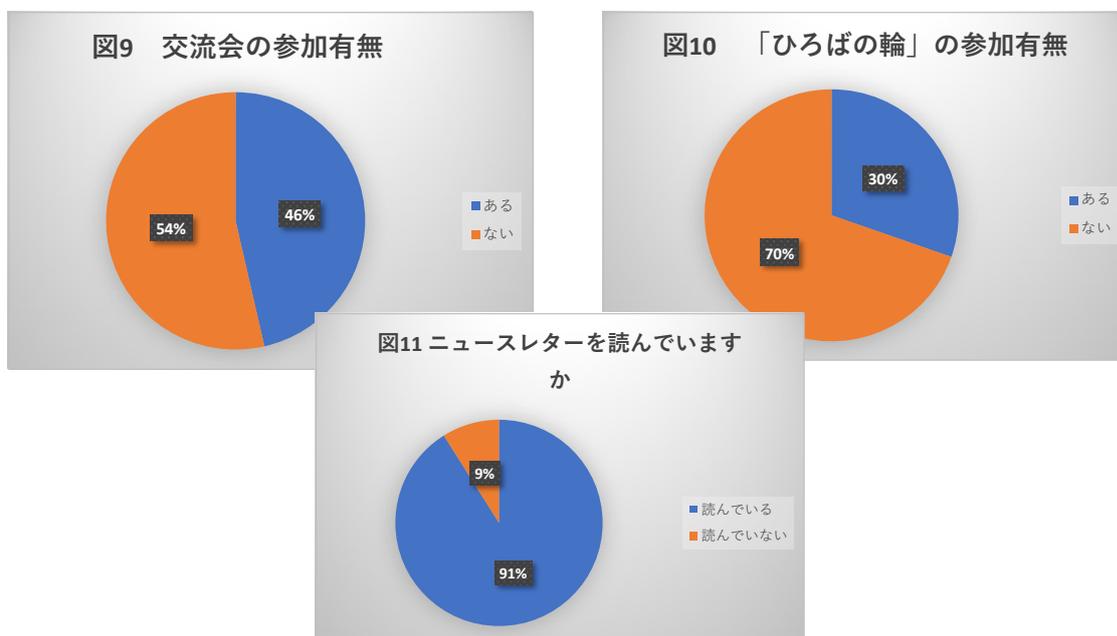
(参加したことがある方 52名/全体 112名=46.4%)

2. 「ひろばの輪」に参加したことがある方は、三分の一弱いました。図10参照

(参加したことがある方 34名/全体 112名=30.4%)

3. 「ニュースレター」を読んでいる方は、90%いました。図11参照

(ニュースレターを読んでいる方 102名/全体 112名=91.1%)

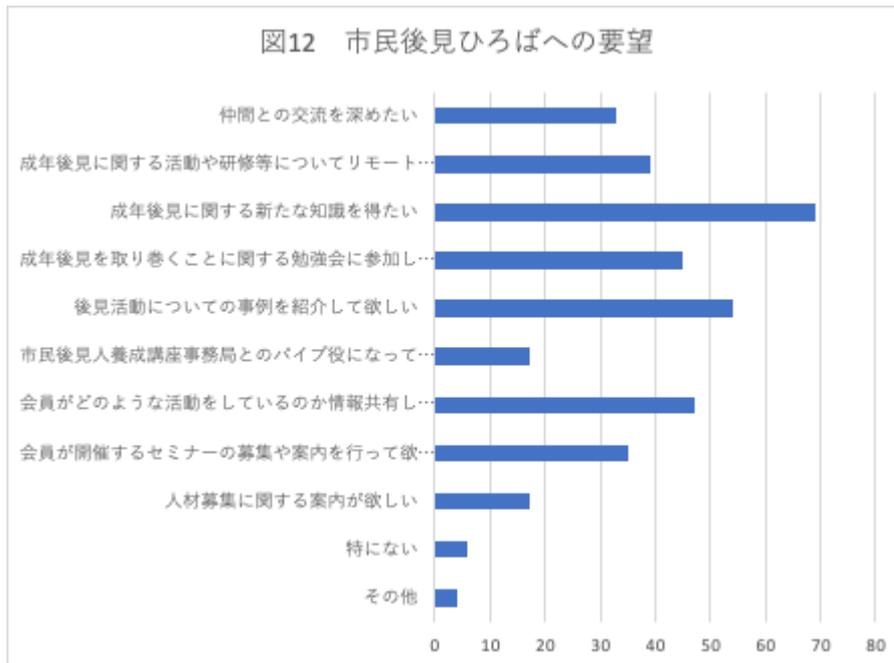


#### 4.市民後見ひろばへの要望 図12 参照

成年後見に関する知識を知りたいという方が、全体の半分以上いました。後見に関する事例の紹介や後見を取り巻く周辺知識を得たいとの意見も多くみられました。

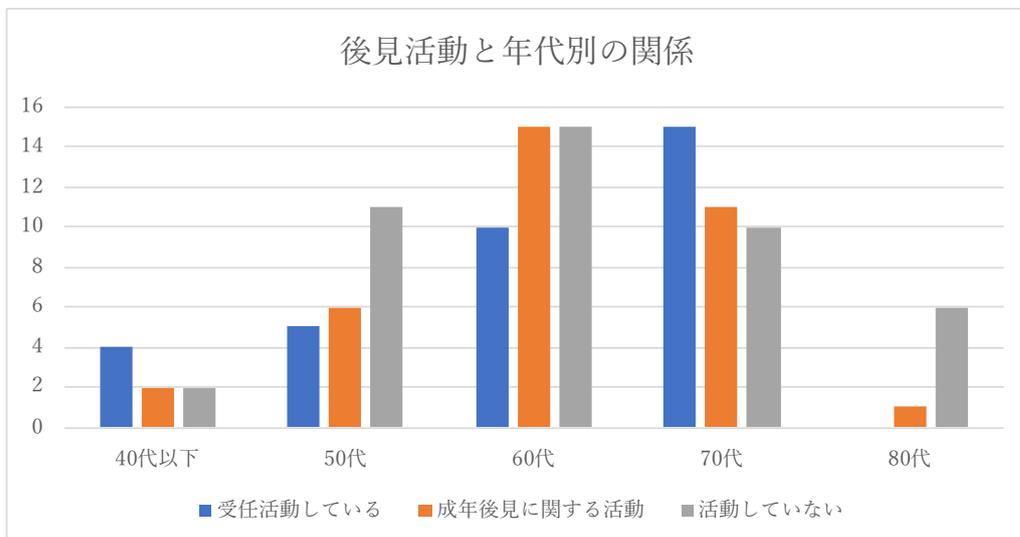
会員がどのような活動をしているかの情報を得たいという方や会員が開催するセミナーの募集や案内を行って欲しいという方がおり、市民後見ひろばのニュースレターやホームページなどを活用しての情報発信ができないか、検討します。

また、成年後見に関する活動や研修等についてリモートで行って欲しいとの意見も多くあり、今後の市民後見ひろばの活動をする上で検討いたします。



#### <アンケート結果の考察>

後見活動と年代別の関係をグラフ化すると次のようになります。(縦は人数を表示)



60代・70代の方々が、現在積極的に活動していることがわかります。

成年後見に関する活動意思はもちつつも、実際に活動に至っていない方も一定数おられ、これらの

方々へのサポート機能が大切だと分かりました。

「市民後見ひろば」は、交流会や勉強会「ひろばの輪」やニュースレターの活動だけでない活動のあり方を、今後検討いたします。

今後ともよろしく願いいたします。

**【市民後見ひろば 運営委員会】**

東京都新宿区神楽河岸 1-1

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo. 49 「市民後見ひろば」宛

shiminkouken.t@gmail.com

以上